

教科	算 数	学年	1
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
なかよしあつまれ	5	ものともものとを対応させることによって個数を比べることができるとともに、身のまわりのものの集合を捉える力を身につける。また、数や形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技>ものともものとを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。 <思・判・表>観点に応じて、身のまわりのものの集合を捉えている。 <態度>数や形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
1 いくつか	8	10までの数及び0について理解し、ものの個数を正しく数えることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技>10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。 <思・判・表>数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。 <態度>数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
2 なんばんめ	4	集合数と順序数について理解し、個数や順番及びものの位置を正しく数えたり表したりすることができるとともに、集合数と順序数の違いを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技>個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また、前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。 <思・判・表>集合数と順序数を用いる具体的な場面に着目し、それらの違いを具体物や図などを用いて考えている。 <態度>数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
3 いまなんじ	2	時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時」「何時半」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技>日常生活の中で時刻をよむことができる。 <思・判・表>時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。 <態度>時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
4 いくつといくつ	8	10までの数について、1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるができるとともに、数の合成・分解について具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技>1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるができる。 <思・判・表>数量の関係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。 <態度>数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
5 ぜんぶでいくつ	10	加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技>加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実にできる。 <思・判・表>数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。 <態度>数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

6 のこりはいくつ	8	減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数－1位数で繰り下がりのない減法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技> 減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数－1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。 <思・判・表> 数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。 <態度> 数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
7 どれだけおおい	4	減法の意味(求差)や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技> 減法の意味(求差)を理解し、式に表して計算することができる。 <思・判・表> 数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。 <態度> 数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
8 10より大きいかず	11	30程度までの数について理解し、数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技> 30程度までの数の数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。 <思・判・表> 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。 <態度> 数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
9 かずをせいりして	2	絵や図を用いた数量の表現についての理解の基礎となる経験を重ね、ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができるとともに、データの個数に着目して身のまわりの事象の特徴を捉える力を身につける。また、数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技> ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができる。 <思・判・表> データの個数に着目し、身のまわりの事象の特徴を捉えている。 <態度> 数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
10 かたちあそび	6	立体図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技> ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 <思・判・表> ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとって形の構成について考えたりしている。 <態度> 身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
11 3つのかずのたしざん、ひきざん	5	3口の数の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	<知・技> 3口の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。 <思・判・表> 数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。 <態度> 数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

12 たしざん	9	1位数+1位数で繰り上がりのある加法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	＜知・技＞1位数+1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解し、加法の計算が確実にできる。 ＜思・判・表＞数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。 ＜態度＞数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
13 ひきざん	9	十何－1位数で繰り下がりのある減法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	＜知・技＞十何－1位数で繰り下がりのある減法の意味や計算のしかたを理解し、減法の計算が確実にできる。 ＜思・判・表＞数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。 ＜態度＞数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
14 くらべかた	12	量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、広さなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	＜知・技＞長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。 ＜思・判・表＞身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。 ＜態度＞身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
15 大きなかず	11	2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方の基礎を理解し、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び簡単な場合について2位数などの加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	＜知・技＞2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序を理解するとともに、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算ができる。 ＜思・判・表＞数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。 また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。 ＜態度＞数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
16 なんじなんぷん	5	時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時何分」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	＜知・技＞日常生活の中で時刻をよむことができる。 ＜思・判・表＞時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。 ＜態度＞時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
17 どんなしきになるかな	5	順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	＜知・技＞順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。 ＜思・判・表＞数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。 ＜態度＞数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

18 かたちづくり	6	平面図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	＜知・技＞ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。 ＜思・判・表＞ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。 ＜態度＞身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
19 1年のまとめ	6	1年生の学習内容の問題を解決することができる。	＜知・技＞数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。 ＜思・判・表＞日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付けている。 ＜態度＞数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

教科	算 数	学年	2
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
1 表とグラフ	7	○単な表やグラフについて理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察する力を身につける。また、データを整理することに進んで関わり、その過程を振り返り、表やグラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したりよみ取ったりすることができる。 <思・判・表>データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察している。 <態度>データを整理することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
2 たし算	10	2位数の加法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>2位数+2位数の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法の計算が確実にできる。また、加法に関して成り立つ性質について理解している。 <思・判・表>数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <態度>加法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
3 ひき算	10	2位数の減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>2位数-2位数の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、減法の計算が確実にできる。また、減法に関して成り立つ性質や、加法と減法との相互関係について理解している。 <思・判・表>数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <態度>減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
4 長さ	9	長さの単位「cm、mm」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>長さの単位「cm、mm」について知り、測定の意味と単位の間接関係を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。 <思・判・表>身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。 <態度>長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
5 100より大きい数	13	3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力を身につけるとともに、十や百を単位としてみて、何十や何百の加法及び減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことに進んで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解している。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算ができる。 <思・判・表>数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算のしかたを考えている。 <態度>数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

6 たし算とひき算	11	百の位に繰り上がる2位数などの加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がり・繰り下がりが無い3位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞2位数+1・2位数＝百何十何の加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がりのない3位数+1・2位数、百の位からの繰り下がりが無い3位数－1・2位数の筆算のしかたを理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。また、()の意味や用い方について理解している。 ＜思・判・表＞数量の關係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしている。 ＜態度＞加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
7 時こくと時間	5	時刻と時間の意味、時間の単位「日、時、分」について知り、日常生活の中で用いる力を身につける。また、時刻と時間を表すことに進んで関わりようとする態度を養う。	＜知・技＞時間の単位「日、時、分」について知り、それらの關係を理解している。 ＜思・判・表＞時間の単位に着目し、時刻や時間を日常生活に生かしている。 ＜態度＞時刻と時間を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
8 水のかさ	8	かさの単位「L、dL、mL」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択してかさを測定する力を身につける。また、かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞かさの単位「L、dL、mL」について知り、測定の意味と単位の關係を理解し、かさについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。 ＜思・判・表＞身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさを的確に表現したり、比べたりしている。 ＜態度＞かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
9 三角形と四角形	11	三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、図形の特徴を見いだすことに進んで関わり、身のまわりのものの形を三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、紙を折って構成したり、格子点を使って作図したりすることができる。 ＜思・判・表＞三角形や四角形の辺や頂点に着目し、構成のしかたを考えるとともに、身のまわりのものの形を三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えている。 ＜態度＞三角形や四角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
10 かけ算	22	乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることに進んで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(5、2、3、4の段) ＜思・判・表＞数量の關係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 ＜態度＞乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
11 かけ算九九づくり	20	乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることに進んで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(6、7、8、9、1の段) ＜思・判・表＞数量の關係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 ＜態度＞乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

12 長いものの長さ	6	長さの単位「m」について知り、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞長さの単位「m」について知り、単位の間係を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。 ＜思・判・表＞身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。 ＜態度＞長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
13 九九の表	7	○乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解し、それらの性質を見いだしたり、簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考える場合などに活用したりする力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質について考えることに進んで関わり、それらを用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。また、簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを知っている。 ＜思・判・表＞数量の係にに着目し、計算に関して成り立つ性質を見いだすとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 ＜態度＞乗法に関して成り立つ性質を見いだすことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
14 はこの形	6	○長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、箱の形の特徴を見いだすことに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。 ＜思・判・表＞図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えているとともに、身のまわりのものの形を図形として捉えている。 ＜態度＞箱の形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
15 1000より大きい数	8	○4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力、及び百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことに進んで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解するとともに、簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。また、何百の加法の計算ができる。 ＜思・判・表＞数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えている。 ＜態度＞数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
16 図をつかって考えよう	6	加法と減法との相互係について理解するとともに、逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけたりして解決のしかたを考える力を身につける。また、問題場面を図に表すことに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞加法と減法との相互係について理解するとともに、問題場面を図や式に表すことができる。 ＜思・判・表＞逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけたりして解決のしかたを考えている。 ＜態度＞問題場面を図に表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

17 1を分けて	9	1/2、1/3など簡単な分数について知り、具体物を操作してそれらの大きさを作ることができるとともに、もとの大きさに着目して分数の大きさを捉えたり表現したりする力を身につける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞1/2、1/3など簡単な分数について知っている。 ＜思・判・表＞もとの大きさに着目して、分数の大きさを捉えたり表現したりしている。 ＜態度＞分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
18 2年のまとめ	7	2年生の学習内容の問題を解決することができる。	＜知・技＞数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。 ＜思・判・表＞日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付けている。 ＜態度＞数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

教科	算 数	学年	3
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
1 かけ算のきまり	12	乗法に関して成り立つ性質について理解し、交換法則、結合法則、分配法則などが成り立つことを図や式などを用いて考える力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、その過程を振り返り、計算の工夫などに生かせるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質を理解している。 <思・判・表>数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を見いだしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <態度>乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
2 時こくと時間	7	時間の単位「秒」について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めることができ、日常生活に生かしている。また、時刻と時間を表したり求めたりすることに進んで関わろうとする態度を養う。	<知・技>日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。また、時間の単位「秒」について知り、1分＝60秒の関係を理解している。 <思・判・表>時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かしている。 <態度>時刻と時間に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
3 たし算とひき算	14	3位数や4位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。 <思・判・表>数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <態度>加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
4 わり算	11	除法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、除法について考えることに進んで関わり、除法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。また、簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算のしかたを知っている。 <思・判・表>数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <態度>除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
5 長さ	6	長さの単位「km」、道のりと距離の意味、及び巻尺について知り、計器を適切に選んで長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>長さの単位「km」について知り、単位の関係を理解し、長さについておよその見当をつけ計器を適切に選んで測定することができる。 <思・判・表>測定するものの特徴に着目し、ものさしでは測りにくいところの長さの測り方を考えている。 <態度>長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

6 表とぼうグラフ	10	棒グラフや二次元表について理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現する力を身につける。また、データを分析することに進んで関わり、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>棒グラフや二次元表の特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。 <思・判・表>データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。 <態度>データを分析することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
7 あまりのあるわり算	10	あまりのある除法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考えたり、計算の確かめのしかたを考えたりする力を身につける。また、除法について考えることに進んで関わり、除法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>あまりのある除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。 <思・判・表>数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <態度>除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
8 10000より大きい数	9	万の単位について知り、十進位取り記数法による数の表し方及び10倍、100倍、1000倍、1/10にした大きさの数について理解し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考える力を身につける。また、整数の表し方に進んで関わり、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>万の単位について知り、十進位取り記数法による数の表し方及び10倍、100倍、1000倍、1/10にした大きさの数について理解し、表すことができる。 <思・判・表>数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしている。 <態度>数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
9 円と球	11	円とその中心、半径、直径について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、円に関連して、球についても理解する。また、円や球に進んで関わり、身のまわりのものの形を円や球として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>円とその中心、半径、直径について理解し、円を作図したり長さを写し取ったりする道具としてコンパスを用いることができる。また、円に関連して、球についても理解している。 <思・判・表>円の中心、半径、直径に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を円や球として捉えている。 <態度>円や球に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
10 かけ算の筆算	11	2位数や3位数に1位数をかける乗法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。 <思・判・表>数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <態度>乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

11 重さ	10	重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して重さを測定する力を身につけるとともに、長さ、かさ、重さの単位の関係を統合的に考察する力を身につける。また、重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、重さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。 <思・判・表> 身のまわりのものの特徴に着目し、単位の関係を統合的に考察している。 <態度> 重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
12 分数	11	分数の意味と表し方、及び簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり、計算のしかたを考えたりする力を身につける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表す数としての分数の意味と表し方、及び分数は単位分数のいくつ分で表せることを理解するとともに、簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり計算したりすることができる。 <思・判・表> 数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えているとともに、分数を日常生活に生かしている。 <態度> 分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
13 三角形	10	二等辺三角形、正三角形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、基本的な図形と関連して角について知る。また、図形の特徴を見いだすことに進んで関わり、身のまわりのものの形を二等辺三角形、正三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 二等辺三角形、正三角形について理解し、作図などをとおしてそれらの関係に次第に着目することができる。また、基本的な図形と関連して角について知っている。 <思・判・表> 図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を図形として捉えている。 <態度> 二等辺三角形、正三角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
14 □を使った式と図	6	数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりする力を身につける。また、□を用いた式に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、□に数をあてはめて調べたりすることができる。 <思・判・表> 数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりしている。 <態度> 数量の関係を表す式に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
15 小数	12	小数の意味と表し方、及び小数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり、計算のしかたを考えたりする力を身につける。また、小数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 端数部分の大きさを表す数としての小数の意味と表し方を理解するとともに、小数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり計算したりすることができる。 <思・判・表> 数のまとまりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。 <態度> 小数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

16 2けたの数のかけ算	11	○2位数や3位数に2位数をかける乗法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。 <思・判・表>数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <態度>乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
17 倍の計算	4	ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解するとともに、図や式などを用いて数量の関係を考察する力を身につける。また、倍の計算に進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解している。 <思・判・表>ある数量ともう一方の数量との関係に着目し、図や式などを用いて、既習の乗法や除法と関連づけながら演算の意味を考察している。 <態度>倍の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
18 そろばん	4	そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の計算のしかたを考える力を身につける。また、そろばんに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができる。 <思・判・表>そろばんのしくみに着目し、簡単な加法及び減法の計算のしかたを考えている。 <態度>そろばんに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
19 算数のまとめ	6	3年生の学習内容の問題を解決することができる。	<知・技>数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。 <思・判・表>日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付けている。 <態度>数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

教科	算 数	学年	4
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
1 大きな数	10	億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、大きな数の大きさの比べ方や表し方、計算のしかたを統合的に捉える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、表すことができる。 <思・判・表> 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かしている。 <態度> 整数の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
2 わり算の筆算	10	除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	<知・技> 除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることやその筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、被除数＝除数×商＋あまりの関係について理解している。 <思・判・表> 数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <態度> 整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
3 折れ線グラフ	10	折れ線グラフについて理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 折れ線グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。 <思・判・表> 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。 <態度> データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
4 角	9	角の大きさについて理解し、角の大きさを測定したり作図したりすることができるとともに、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、角の大きさの単位と測定のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 角の大きさを回転の大きさとして捉え、角の大きさの単位「度(°)」について理解し、角の大きさを測定することができる。 <思・判・表> 図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりしている。 <態度> 角の大きさについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
5 2けたの数のわり算	15	除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	<知・技> 除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、除法に関して成り立つ性質について理解している。 <思・判・表> 数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <態度> 整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

6 がい数	10	概数や四捨五入について理解し、目的に応じて概数で表したり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができる。また、その過程を振り返り、概数を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞概数が用いられる場合や四捨五入について知り、目的に応じて概数を作ったり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができる。 ＜思・判・表＞日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。 ＜態度＞概数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
7 垂直、平行と四角形	15	直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、それらの図形を作図することができる。 ＜思・判・表＞図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。 ＜態度＞台形、平行四辺形、ひし形などについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
8 式と計算	8	数量の関係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質について理解し、正しく計算することができる。また、数量の関係を式に表したり式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また、その過程を振り返り、式のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算することができる。また、四則に関して成り立つ性質についての理解を深め、その関係を○、△などを用いて式に表したり、数をあてはめて調べたりすることができる。 ＜思・判・表＞問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。また、計算に関して成り立つ性質を用いて計算のしかたを考えている。 ＜態度＞数量の關係を表す式、及び計算に関して成り立つ性質に関わることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
9 面積	13	平面図形の面積、及び公式についての考え方を理解し、長方形や正方形の面積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、面積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞面積の単位「cm^2、m^2、km^2、a、ha」と測定の意味、単位の関係について理解し、長方形及び正方形の面積を公式を用いて求めることができる。 ＜思・判・表＞面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えているとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。 ＜態度＞長方形や正方形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
10 整理のしかた	7	データを2つの観点から分類整理する方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、二次元表に表したりよんだりすることができる。また、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、二次元表の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表したりよんだりすることができる。 ＜思・判・表＞目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、二次元表を用いて問題を解決したり、その結論について考察したりしている。 ＜態度＞データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

11 くらべ方	6	倍の数量関係について理解を深めるとともに、簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知り、図や式などを用いて、それらの関係の比べ方を考察する力を身につける。また、その過程において、比べ方について多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	＜知・技＞整数倍の意味について、基準量を1としたときにいくつにあたるかを表していることを理解している。また、簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。 ＜思・判・表＞日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方を考察している。 ＜態度＞ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方について、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
12 小数のしくみとたし算、ひき算	14	小数のしくみや数の相対的な大きさについて理解を深め、小数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞小数が整数と同じくみで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。また、小数の加法及び減法の計算ができる。 ＜思・判・表＞数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。 ＜態度＞小数とその計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
13 変わり方	6	伴って変わる2つの数量について、変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表すことができるとともに、それらを用いて変化や対応の特徴を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、関数の考えのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴をよみ取ったりすることができる。 ＜思・判・表＞伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。 ＜態度＞伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
14 そろばん	3	そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、そろばんのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができる。 ＜思・判・表＞そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考えている。 ＜態度＞そろばんについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを学習に活用しようとしたりしている。
15 小数と整数のかけ算、わり算	16	小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味、及び小数を用いた倍について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	＜知・技＞小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。また、ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。 ＜思・判・表＞数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。 ＜態度＞小数×整数の乗法、小数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

16 立体	10	直方体や立方体について理解し、見取図や展開図による表現や構成のしかたを考察して図形の性質を見いだしたり、日常の事象を図形の性質から捉え直したりする力を身につけるとともに、ものの位置の表し方について理解し、数を用いて位置を表現する方法を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、図形の性質や表現を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>直方体や立方体、及びそれらに関連して直線や平面の平行や垂直の関係について理解し、見取図や展開図を作図することができる。また、ものの位置の表し方について理解している。 <思・判・表>図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。また、平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。 <態度>直方体や立方体、及びものの位置の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
17 分数の大きさとたし算、ひき算	11	簡単な場合について大きさの等しい分数があることを知り、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを図や式などを用いて考えたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技>簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知っている。また、同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 <思・判・表>数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えたりしているとともに、それを日常生活に生かしている。 <態度>分数とその加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
18 算数のまとめ	2	4年生の学習内容の問題を解決することができる。	<知・技>数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。 <思・判・表>日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付けている。 <態度>数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしていたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

教科	算 数	学年	5
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
1 整数と小数	5	整数及び小数の表し方を理解し、そのしくみについてまとめたり、数と式の表現や計算などに有効に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞整数や小数の十進数としてのしくみを理解し、ある数の10倍、100倍、1000倍、$1/10$、$1/100$などの大きさの数を、小数点の位置を移して作ることができる。 ＜思・判・表＞整数と小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。 ＜態度＞整数や小数について、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
2 体積	12	立体図形の体積について理解し、直方体や立方体の体積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、体積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞整数や小数の十進数としてのしくみを理解し、ある数の10倍、100倍、1000倍、$1/10$、$1/100$などの大きさの数を、小数点の位置を移して作ることができる。 ＜思・判・表＞整数と小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。 ＜態度＞整数や小数について、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。
3 2つの量の変わり方	7	簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量の関係について表や式を用いて考察する力を身につける。また、その過程において、数量の変化や対応の関係について多面的に捉え検討して粘り強く考える態度を養う。	＜知・技＞簡単な場合について比例の関係があることを知るとともに、数量の関係を表す式についての理解を深めている。 ＜思・判・表＞伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目して表を用いて変化や対応の特徴を考察したり、対応や変わり方に着目して簡単な式で表されている関係について考察したりしている。 ＜態度＞伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
4 小数のかけ算	11	乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	＜知・技＞乗数が小数である場合の乗法の意味について理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。 ＜思・判・表＞乗法の意味に着目し、乗数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。 ＜態度＞小数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
5 合同と三角形、四角形	15	図形の合同について理解し、図形間の関係を合同の観点で考察したり、合同な図形の構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、三角形や四角形などの内角の和の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明する力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞図形の形や大きさが決まる要素や、図形の合同について理解し、合同な図形を作図することができる。また、三角形の3つの角の大きさの和が180°になることや、四角形や多角形の内角の和は三角形に分ければ求められることを理解している。 ＜思・判・表＞図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。 ＜態度＞図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

6 小数のわり算	14	除数が小数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	＜知・技＞除数が小数である場合の除法の意味や、あまりの大きさについて理解し、小数の除法の計算ができる。また、小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。 ＜思・判・表＞除法の意味に着目し、除数が小数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。 ＜態度＞小数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
7 整数の見方	12	偶数と奇数、倍数、約数など整数の性質について理解し、観点を決めて整数を類別するしかたを考えたり、数の構成について考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、整数の性質に着目することのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞整数は観点を決めると偶数と奇数に類別されることや、約数、倍数について理解し、それらを求めることができる。 ＜思・判・表＞乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別するしかたを考えたり、数の構成について考察したりしているとともに、日常生活に生かしている。 ＜態度＞整数の性質や整数の構成を調べることにについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
8 分数の大きさとたし算、ひき算	10	分数の意味と表し方について理解を深め、分数の相等や大小関係について考える力を身につけるとともに、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞分数の分母、分子に同じ数を乗除してできる分数は、もとの分数と同じ大きさを表すことや、分数の相等及び大小について理解し、大小を比べることができる。また、異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 ＜思・判・表＞数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察している。また、分数の意味や表現に着目し、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えている。 ＜態度＞分数の意味と表し方、異分母の分数の加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
9 平均	8	平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、平均を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞いくつかの数量を同じ大きさの数量にならすことで妥当な数値が得られる場合は、測定値を平均するとよいことを理解し、平均を求めることができる。 ＜思・判・表＞概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。 ＜態度＞平均について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
10 単位量あたりの大きさ	13	異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味や表し方を理解するとともに、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。 ＜思・判・表＞異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。 ＜態度＞異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

11 わり算と分数	7	整数の除法の結果を分数で表すことを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができるとともに、分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞整数の除法の結果は、分数を用いると常に1つの数として表すことができることを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。 ＜思・判・表＞分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめたりしている。 ＜態度＞分数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
12 割合	13	ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解するとともに、その意味や求め方を図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることや、百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。 ＜思・判・表＞日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。 ＜態度＞割合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
13 割合とグラフ	8	帯グラフと円グラフ及び統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞円グラフや帯グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。また、データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。 ＜思・判・表＞目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。 ＜態度＞データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
14 四角形や三角形の面積	17	四角形や三角形の面積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、面積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	＜知・技＞平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。 ＜思・判・表＞図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。 ＜態度＞四角形や三角形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
15 正多角形と円	12	正多角形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、円周率について理解し、円周の長さや直径の長さの求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、それらの図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞円と関連させて正多角形の基本的な性質について理解し、正多角形を作図することができる。また、円周率の意味について理解し、円周の長さや直径の長さを求めることができる。 ＜思・判・表＞図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりしている。 ＜態度＞正多角形と円について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

16 角柱と円柱	7	角柱や円柱について理解し、図形の性質を見いだしたり、その性質をもとに既習の図形を捉え直したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、それらの図形の性質を生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 角柱や円柱について理解し、見取図や展開図を作図したり、展開図をもとに構成したりすることができる。 <思・判・表> 図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。 <態度> 角柱や円柱について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。
17 算数のまとめ	4	5年生の学習内容の問題を解決することができる。	<知・技> 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。 <思・判・表> 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付けている。 <態度> 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしていたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

教科	算 数	学年	6
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
1 文字を使った式	9	数量を表す言葉や口、○、△などの記号の代わりに、 x 、 a 、 b などの文字を用いて式に表すことを理解し、問題場面の数量の関係を、式を用いて簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また、その過程を振り返り、文字を用いた式の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞数量を表す言葉や口、○、△などの記号の代わりに、x、a、bなどの文字を用いて式に表したり、文字に数をあてはめて調べたりすることができる。 ＜思・判・表＞問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味をよみ取ったりしている。 ＜態度＞文字を用いた式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
2 分数と整数のかけ算、わり算	9	分数×整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	＜知・技＞分数×整数の乗法、分数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。 ＜思・判・表＞分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算のしかたを多面的に捉え考えている。 ＜態度＞・分数×整数の乗法、分数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
3 対称な図形	14	対称な図形について理解し、対称性といった観点から図形の性質を考察したり、線対称な図形や点対称な図形の構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞対称な図形について理解し、線対称な図形や点対称な図形を作図することができる。 ＜思・判・表＞図形を構成する要素及び図形間の關係に着目し、構成のしかたを考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直したり日常生活に生かしたりしている。 ＜態度＞対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
4 分数のかけ算	13	乗数が分数である場合の乗法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	＜知・技＞乗数が分数である場合の乗法の意味について理解し、分数の乗法の計算ができる。また、分数の乗法についても整数や小数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。 ＜思・判・表＞分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、乗数が分数である場合まで数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。 ＜態度＞分数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
5 分数のわり算	15	除数が分数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	＜知・技＞・除数が分数である場合の除法の意味について理解し、分数の除法の計算ができる。また、分数の除法についても整数や小数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。 ＜思・判・表＞・分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、除数が分数である場合まで数の範囲を広げて除法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。 ＜態度＞分数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

6 データの見方	13	代表値や、度数分布を表す表とグラフ、及び統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、統計的な問題解決のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 代表値の意味や求め方、度数分布を表す表やグラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。また、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を知っている。 <思・判・表> 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断しているとともに、その妥当性について批判的に考察している。 <態度> データを収集したり分析したりすることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
7 円の面積	12	円の面積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、面積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	<知・技> 円の面積の計算による求め方について理解している。 <思・判・表> 図形を構成する要素などに着目し、円の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。 <態度> 円の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
8 比例と反比例	15	比例の関係について理解し、比例の関係をを用いた問題解決の方法や、反比例の関係について知るとともに、伴って変わる2つの数量の関係について表や式、グラフを用いて考察する力を身につける。また、その過程において、数量の変化や対応の関係について多面的に捉え検討して粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 比例の関係の意味や性質を理解している。また、比例の関係をを用いた問題解決の方法や、反比例の関係について知っている。 <思・判・表> 伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだしているとともに、それらを日常生活に生かしている。 <態度> 伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
9 角柱と円柱の体積	8	角柱及び円柱の体積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたり、公式を導いたりする力を身につける。また、その過程において、体積の求め方を多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。	<知・技> 角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解し、それらの体積を公式を用いて求めることができる。 <思・判・表> 図形を構成する要素に着目し、角柱及び円柱の体積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。 <態度> 角柱及び円柱の体積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
10 比	12	比について理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができるとともに、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、比を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。	<知・技> 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。 <思・判・表> 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。 <態度> 比について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

11 拡大図と縮図	17	拡大図や縮図について理解し、2つの図形間の関係を拡大、縮小の関係という観点で考察したり、構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞拡大図や縮図について理解し、それらの図形を作図することができる。 ＜思・判・表＞図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを考察したり図形の性質を見いだしたりしているとともに、日常生活に生かしている。 ＜態度＞拡大図や縮図について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
12 並べ方と組み合わせ	12	起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を知り、落ちや重なりなく調べる方法を考察する力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	＜知・技＞起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を知っている。4種類から3種類を選ぶときの組み合わせ方を、起こり得る場合を順序よく整理して調べることができる。 ＜思・判・表＞事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察している。 ＜態度＞起こり得る場合について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。
13 算数のまとめ	26	6年間の算数の学習を振り返りながら本単元の学習に取り組むことを通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、数学のよさに気づき、算数と日常生活との関連についての理解を深め、算数を主体的に生活や学習に生かそうとしたり問題解決の過程や結果を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する。	＜知・技＞数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。 ＜思・判・表＞日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付けている。 ＜態度＞数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりしている。